

学術研究の最前線

環境・社会・人間



オンライン配信

2021.11.6 Sat 13:00~16:30

定員: 500名 (申込順) 視聴無料 締切: 2021年10月26日(火) ※定員に達次第、締切りますのでお早めにお申し込みください。

主催: 四大学連合 (東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)

企画: 四大学連合附置研究所

後援: お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

《講演者・講演要旨》

データサイエンス・説明可能なAIによる個別化医療

東京医科歯科大学
M&Dデータ科学センター AI技術開発分野
教授

Heewon Park
(ハウォン パク)

癌などの複雑メカニズムを持つ疾患の治療や予防効果を向上させるためには、個人個人の情報解析から疾患のシステム異常を理解し、最適化された個別化医療は必修である。本講演では、個別化医療に向けたメディカルビッグデータ解析の最新事例を紹介する。



ビッグデータが解明する社会に潜む法則性

東京工業大学
科学技術創成研究院
ビッグデータ数理工学研究ユニット
教授

高安 美佐子
(たかやす みさこ)

今、社会や経済など多数の人間が関与する現象が科学の最前線になっている。ブログ、金融市場、企業取引ネットワーク、スマホGPSなどのビッグデータに潜む法則をどのように探索しモデルを構築するか、具体例を通して紹介する。



COVID-19芸能・感染拡大初期のインドネシア・バリ島の事例から

東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
准教授

吉田 ゆか子
(よしだ ゆかこ)

COVID-19の感染拡大は、バリ島の観光産業に大きな打撃を与え、また人々の生活様式の変容を促した。そのようななか、バリ芸能は、上演機会が制限されたものの、新たな表現形式も生まれ、この危機に対し様々な形で応答している。

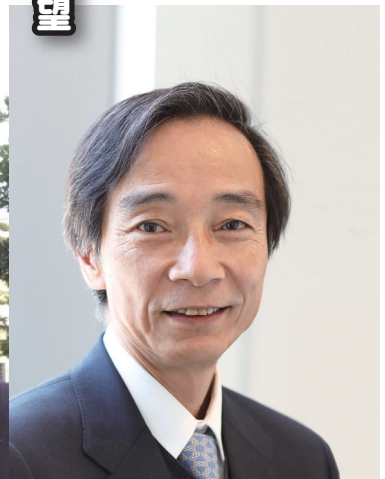


コロナ危機と日本経済の展望

一橋大学
経済研究所
教授

森川 正之
(もりかわ まさゆき)

新型コロナに関する経済分析は急速に進んでいる。感染抑止と経済活動のトレードオフ、雇用への影響と経済格差の拡大、生産性や経済成長への影響、政策の利害得失などの研究に基づき、コロナ危機後の日本経済を展望する。



オンライン配信 について

文化講演会は、例年、講演会場にて開催しておりましたが、昨年度に続き、新型コロナウイルス感染防止のため、インターネットでの配信にて開催いたします。

お申込み オンライン文化講演会は、視聴申込みサイトでの受付のみになります。

視聴申込みサイト http://www.tokyo-4univ.jp/lecture_information/

※ お申込みいただいた個人情報はご本人の承諾なく本講演会の実施目的以外には使用いたしません。





東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐える研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この20年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第16回の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

学術研究の 最前線 環境・社会・人間

■ 講演者略歴

東京医科歯科大学

M&Dデータ科学センター AI技術開発分野 教授

Heewon Park

2009年 E-trade 証券株式会社(韓国)、2013年 中央大学理工学部数学科博士号(理学)取得、2013年東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターDNA情報解析分野 特任研究員、2015年山口大学国際総合科学部助教、2017年理化学研究所革新知能統合研究センター(AIP)客員研究員(現在に至る)、2018年東京大学 医科学研究所ヒトゲノム解析センター 客員研究員(現在に至る)、2019年広島大学情報科学部准教授、2020年東京医科歯科大学M&Dデータ科学センターAI 技術開発分野教授(現在に至る)[専門]統計科学・説明可能なAI[受賞]2011年Best presentation Award. In Joint Meeting of the Korea-Japan Conference of Computational Statistics and the 25th Symposium of Japanese Society of Computational Statistics. 2012 年表彰状、中央大学教員会(学員会会長賞)、2013年船木勝馬学術奨励賞

<https://www.tmd.ac.jp/emn/dsc/department/ai-tech.html>

東京工業大学

科学技術創成研究院
ビッグデータ数理科学研究ユニット
教授

高安 美佐子

名古屋大学理学部物理学科卒業、神戸大学大学院自然科学研究科修了、博士(理学)、慶應義塾大学理工学部助手、公立ほこだて未来大学システム情報科学部複雑系科学科助教授、東京工業大学大学院総合理工学研究科知能システム科学専攻准教授を経て現職。専門は、数理物理学、統計物理学、経済物理学。著書は、「学生・技術者のためのビッグデータ解析入門」(日本評論社)、「ソーシャルメディアの経済物理学ウェブから読み解く人間行動」(日本評論社)、「マルチエージェントによる金融市場のシミュレーション」(コロナ社)など。

<https://www.smp.dbs.titech.ac.jp/index.html>

東京外国語大学

アジア・アフリカ言語文化研究所
准教授

吉田 ゆか子

2000年国際基督教大学理学科卒業。2002年筑波大学大学院修士(地域研究)。株式会社インテージでの勤務を経て2012年筑波大学大学院博士(学術)。国立民族学博物館機関研究員、日本学術振興会特別研究員P D、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助教を経て、2020年より現職。専門は文化人類学。芸能、宗教、身体、モノ、わざ、環境、をテーマに、特にバリ、ジャカルタ、日本におけるバリ芸能の展開を追っている。2021年より新型コロナウイルス感染拡大下で育まれる芸能についての共同研究を主宰。主な著作は『バリ島仮面舞踊劇の人類学—人とモノの織りなす芸能』(風響社)。2009年東方学会賞、2011年国立民族学博物館 みんぱく若手セミナー賞、2013年度第8回日本文化人類学会奨励賞受賞。

<http://www.aafu.ac.jp/ja/staff/list1/yoshiday>

一橋大学

経済研究所 教授

森川 正之

東京大学教養学部卒。経済学博士(京都大学)。経済産業省調査課長、産業構造課長、大臣官房審議官、経済産業研究所副所長などを経て、2020年より一橋大学経済研究所教授及び経済産業研究所所長。専門分野は、経済政策、産業構造、生産性。主な著書として、『サービス産業の生産性分析』(日本評論社、2014年)、『サービス立国論』(日本経済新聞出版社、2016年)、『生産性 誤解と真実』(日本経済新聞出版社、2018年)、『コロナ危機の経済学』(編著、2020年、日本経済新聞出版)。

<https://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/morikawa.html>

東京外国語大学

大学院総合国際学研究院 教授

佐野 洋

東京医科歯科大学

M&Dデータ科学センター 生物統計学分野 教授

高橋 邦彦

一橋大学

経済研究所 教授
ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター長

渡部 敏明

PROGRAM

- | | | | |
|-------------|--|-------------|--|
| 13:00-13:10 | 開会挨拶 一橋大学 学長 | 14:25-15:00 | 『ビッグデータが解明する社会に潜む法則性』
東京工業大学 科学技術創成研究院 ビッグデータ数理科学研究ユニット 高安 美佐子 教授 |
| 13:10-13:20 | 来賓挨拶 文部科学省 研究振興局 学術機関課 | 15:00-15:10 | 休憩 |
| 13:20-13:50 | 『大学でのデータサイエンス教育』
東京外国語大学 大学院総合国際学研究院 佐野 洋 教授
東京医科歯科大学 M&Dデータ科学センター 生物統計学分野 高橋 邦彦 教授
一橋大学 経済研究所、ソーシャル・データサイエンス教育研究推進センター長 渡部 敏明 教授 | 15:10-15:45 | 『COVID-19と芸能—感染拡大初期のインドネシア・バリ島の事例から』
東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 吉田 ゆか子 准教授 |
| 13:50-14:25 | 『データサイエンス・説明可能なAIによる個別化医療』
東京医科歯科大学 M&Dデータ科学センター AI技術開発分野 Heewon Park 教授 | 15:45-16:20 | 『コロナ危機と日本経済の展望』
一橋大学 経済研究所 森川 正之 教授 |
| | | 16:20-16:30 | 閉会挨拶 東京工業大学 学長 |